



KONICA MINOLTA

# 熱現像ドライフィルム 保管・取扱いでのお願い

SD-P/SD-PC/SD-PM/SD-Q/SD-QC/SD-Q2/SD-QM/SD-QM2

## 未使用フィルムの保管・取扱いについて

- 1 未使用のドライフィルムは、包装された状態で各種放射線の影響を受けない冷暗所で保存してください。(SD-Q2、SD-QM2は **25°C以下**。それ以外のフィルムは**23°C以下**)
- 2 冷蔵保存時は、必ず常温に戻して、イメージャーへ装填してください。
- 3 保管温度が**30°C以上**の環境に長く保存されますと、有効期限に影響したり、品質が損なわれることがあります。

※レーザーイメージャーに装填したフィルムは、早めにご使用下さい。

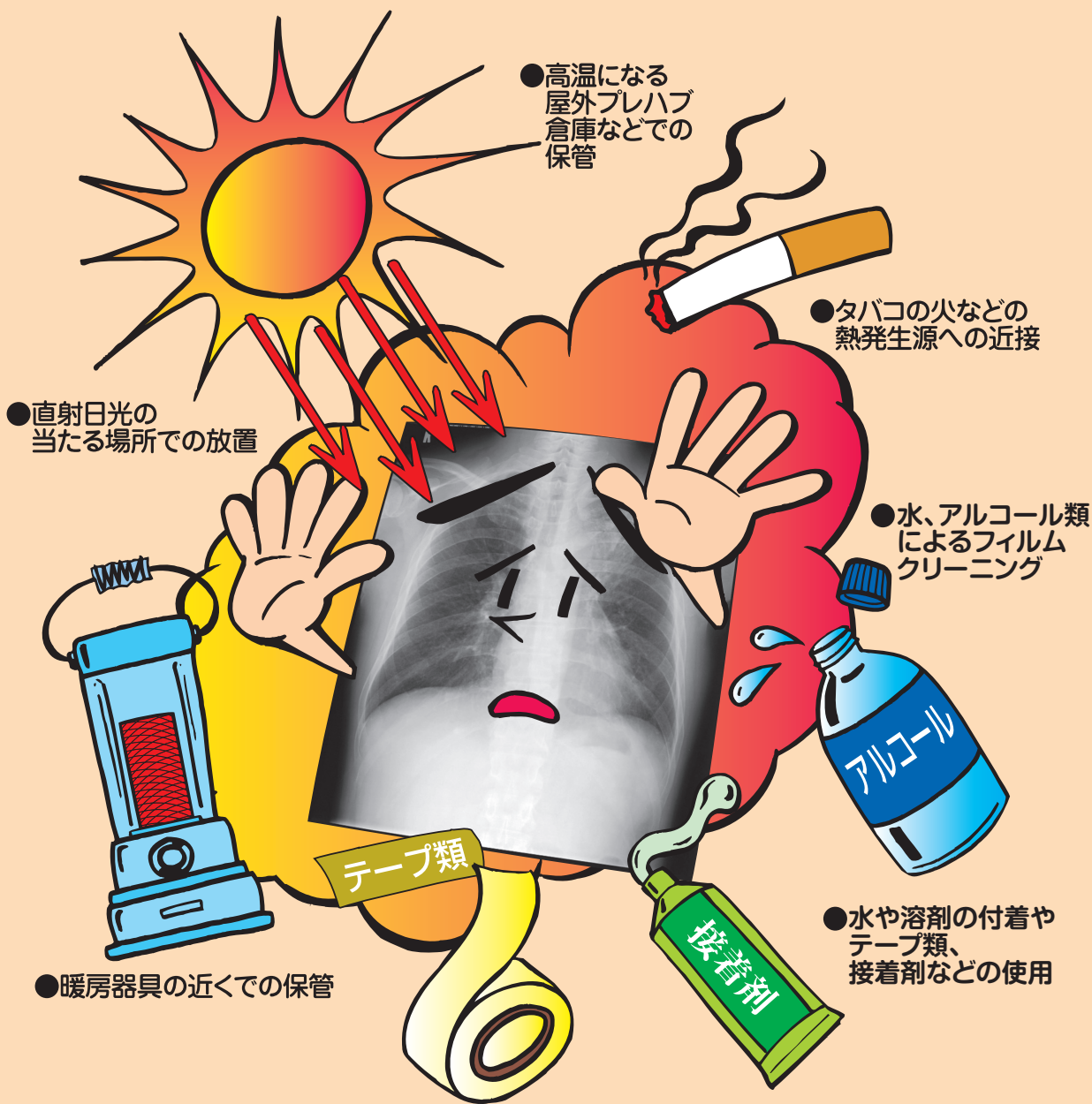
※冬季などに低温で保管されたフィルムは、室温に戻してからご使用ください。(フィルムの温度が低いうちにレーザーイメージャーに装填すると、結露する場合があります。)

## 現像後のフィルム(画像)の保管・取扱いについて

- 1 熱現像タイプであり、現像後の画像でも、高い温度や光の影響を受け易いため、**冷・暗所(強い光の当たらない室内)**での保管をお願いします。
- 2 保管の温度が**40°C以上**になりますと、短期間の保存で濃度変動・変色を引き起こすことがあります。日中での車内への放置や、直射日光の当たる窓際での保管は避けるようお願いいたします。
- 3 フィルムは水に濡らさないようお願いします。また、直接フィルムに触れると指紋の跡が付くことがありますので、取扱いの際には手袋等の装着をお願いいたします。

※保存温度が高くなったり、長時間光にさらされますと、濃度の変動や変色を引き起こし易くなります。

## 現像後のフィルム(画像)の保管・取扱いの注意点



●長期間に渡るシャーカステン上への放置

●局部的に圧力が加わる様な取扱い(指で折り曲げる様な取扱いなど)

●高温になる車内への放置

●スライドプロジェクターやオーバーヘッドプロジェクターでの使用

**[上記のような取扱い、保管は避けるようお願いいたします。]**

